

2007 年度

科目名	対象学科・学年 文学部コミ 2 回生 人間人社 2 回生	担当者
英語Ⅱ		高村 博正
授業テーマ		
英語の4技能（書く、話す、読む、聴く）をバランスよく、たのしく練習します。		
授業の概要と目標 インターネットを使って以下の演習を行います：①Free Quick Writing（10 分間でどのくらい英語が書けるかをみます。びっくりするほど英語が書ける自分を発見します）。同時に、「文法度」と「内容度」を自己評価し、上記3種類の「成績」は表計算ソフトの Excel に記録し、グラフ化します ②リスニング（個人とグループで英語の書き取り）をします③インターネットのフリー英語訓練サイトを利用して、虫食い・3 択テストをします。④現代G P の Moodle 添削・指導支援システムを利用します。		
評価方法 毎回の実習成果が評価の対象になります。毎回の評価点（100 点満点）の積算を講義回数で割り、その6 割以上獲得が評価の基礎点。優良可の評価は従来通り。欠席は-20 点を加算。遅刻は当日の得点を半減。学生←→教師の相互評価を行います。		
テキスト 高村私家本を使います。	著者 高村博正	出版社
参考書 授業の最初にリーディング・リスト（読むべき参考文献表）を配布します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容		
1. 入門講義と自己紹介	日本語と英語で簡単な自己紹介。Excel 表の「自己成績管理表」を配布します。	
2. パソコンの使い方	実習に必要なインターネット操作を練習します。	
3. Free Quick Writing	自由に英語を書く訓練をします。字数と文法度と内容度を記録します。	
4. リスニングのコツ（1）	英語の聞き取り訓練をします。自分の録音を自分で書き取ります。	
5. リスニングのコツ（2）	自分の録音をクラスメートが書き取ります。	
6. リスニングのコツ（3）	グループで英語文を聞き取り、共同作業による聞き取り演習をします。	
7. 英語での会話実習（1）	いわゆる「英会話」を行います。それが最終目的ではない点を解説します。	
8. 英語での会話実習（2）	意味群としてのメッセージ伝達の重要性を解説します。これが本当の英会話です。	
9. 英語での会話実習（3）	英語によるプレゼンテーションの実習をします。英語世界での重要な能力です。	
10. Moodleによる実習（1）	時・場所・環境を超えた学習のチャンスを体験します。添削を中心にします。	
11. Moodleによる実習（2）	時・場所・環境を超えた学習のチャンスを体験します。過去の添削を利用します。	
12. Moodleによる実習（3）	時・場所・環境を超えた学習のチャンスを体験します。同時相互評価を利用します	
13. 教養としての文学（1）	英語の絵本の読み方・楽しみ方を解説します。	
14. 教養としての文学（2）	英語による文学作品（短編）の読み方を実習します。	
15. 教養としての文学（3）	英語映画の鑑賞の仕方を実習します。	
16. ゲスト・ティーチャー（1）	英語の使い手・達人をゲストに呼び、実際の生きた英語に接します。	
17. 通常訓練の解説	英語4技能をバランスよく実習する基本姿勢と方針を説明します。	
18. 通常訓練（1）	英語の4技能を効果的に実習します。	
19. ゲスト・ティーチャー（2）	英語の使い手・達人をゲストに呼び、実際の生きた英語に接します。	
20. 通常訓練（2）	英語の4技能を効果的に実習します。	
21. 通常訓練（3）	英語の4技能を効果的に実習します。	
22. 通常訓練（4）	英語の4技能を効果的に実習します。	
23. 通常訓練（5）	英語の4技能を効果的に実習します。	
24. ゲスト・ティーチャー（3）	英語の使い手・達人をゲストに呼び、実際の生きた英語に接します。	
25. プレゼンの実習	英語による簡単なプレゼンテーションの方法を実習します。	
26. 通常訓練（6）	英語の4技能を効果的に実習します。	
27. 通常訓練（7）	英語の4技能を効果的に実習します。	
28. 通常訓練（8）	英語の4技能を効果的に実習します。	
29. 最終試験準備説明	一年間の授業と実習の総決算を行います。最終試験の説明をします。	
30. 最終講義	Free Quick Writing の成果をグラフにして提出します。最終試験。	
★「ゲスト・ティーチャー」は「実戦アクセス講義」の一環として行っています。		